福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社 Green prop
代表者名	川添　克子
所在地	福岡市博多区博多駅南 2 丁目 3-1-1 号
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	その他
電話番号	092-432-8507
ホームページ	https://greenprop.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	当社の考える Well-being は、自律分散型の組織をつくることです。2022 年 7 月より組織構造と会計・財務構造を変革しました。会計状況や各チームの状況をクラウドソフトや社内 SNS でフルオープンにし、情報を見ながら事業運営にまつわる意思決定を誰もができるようにしています。また導入していたテレワーク制度に加え、フレックスタイム制度も導入し、日々の働き方についても自ら考え行動できる環境にしています。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：株式会社Green prop

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・代表をはじめ、女性が12名・全体の31%在籍。営業やコンサルタント、ドライバーと幅広い職種で活躍している。 ・多様な人材が活躍できる職場環境づくりとして、業務の細分化やマニュアル、当社が大切にしている考え方や倫理観を共有するプログラムを整備している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・営業・事務メンバーはフレックスタイム制を導入。 ・テレワークも含め、個人で自分の働き方を管理しながら勤務できる環境を整備している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・就業規則にてあらゆるハラスメント防止に関する事項を定めており、ハラスメント相談窓口も社内に設置。 ・人権尊重には倫理観が重要と考え、当社が大切にしている倫理観を共有プログラムを整備している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・フレックスタイム制度により柔軟な働き方を推進。 ・定期的に社員のメンタルチェックテストを実施し、その時々の状態を確認している。 ・社員の健康促進に向けて、毎月2回のヨガストレッチ教室を開催。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・「自ら学びたい・身につけたい」という自発性を重視しており、資格取得支援制度で整理している業務に必要な資格や学びたい講習は、自らで意思決定して受講することができる。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・エコアクション21の認証を取得しており、環境マネジメントの項目の1つとして廃棄物管理を実施。 ・一般廃棄物や産業廃棄物などの排出管理はもちろん、紙ゴミなどの資源物リサイクルを進めている。 ・廃棄物事業では排出事業者から発生する廃棄物のリサイクル提案を進めている。			○			○					○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・エコアクション21の認証を取得しており、エネルギー消費量を毎月集計しCO2排出量を算定。 ・車両運行に伴う軽油等の化石燃料使用によるCO2排出量が最も多く、エコドライブによる燃費向上や低燃費車の導入、一部のカーボン・オフセットを実施。 ・嘉麻市にある自社敷地において、1MWの太陽光発電を実施。							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・車両運行は、軽油等の化石燃料使用、大気汚染等に影響を与えており、燃費向上や低排ガス車の導入を進めている。 ・廃棄物のマテリアルリサイクル提案を行っており、お客様の天然資源の持続的利用配慮に貢献している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・エコアクション21の認証を取得しており、水の適切な使用も環境目標に位置付け実施中。 ・事務所使用による節水活動として、節水コマの設置、節水啓発ポスターの掲示を行っている。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・年2回、お客様・協力会社を訪問し自社サービスに対するご意見を伺うコミュニケーションを実施。 ・廃棄物事業は特に法令遵守がサービスの安全性・品質にも影響するため、毎年内部監査を行い自社のコンプライアンス面のチェックを実施。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・「For Sustainable Tomorrows(持続可能な未来のために)」をコンセプトに、環境・CSR分野の課題解決サービスを実施。 ・行政焼却炉から発生する焼却灰等のリサイクル、中小企業へのCSR概念づくりからCSR活動支援など、持続可能な取組を行う組織数増加への貢献実績あり。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人に限らず情報保護に関する方針を定めている。 ・社員の個人情報に関しては担当部署を設け、必要な人のみが情報を管理し、セキュリティ付きのデータ及びデータフォルダにて管理している。 ・取引先情報は専用顧客管理システムで管理し、ISO27001を取得している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・特に廃棄物事業においては複数の法令を遵守することが大前提で成り立っており、社員教育のコンテンツも整備。 ・関連法規を整理し年に1回の内部監査にて順守状況をチェックしている。															○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念、クレド、理念の考えに至った歴史的エピソードを整理した社史を作成し、理念共有プログラムを実施。 ・経営状況を報告する会を年に1回開催。経営や事業運営に関する情報も全てオープンにしている。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・BCPの策定中で、2023年6月に完成予定。 ・事業承継に向けて、社員一人一人が自ら経営者感覚を養い事業運営していく自律分散型の組織にしていくために、2022年7月より組織構造と会計・財務構造を変革し運営している。									○		○		○			○	